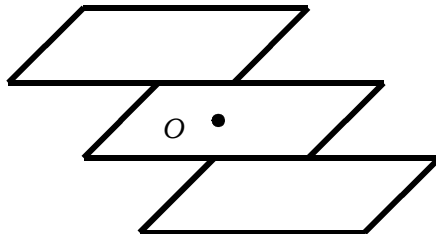
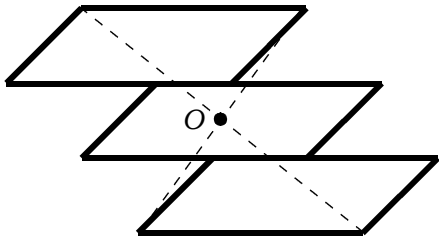
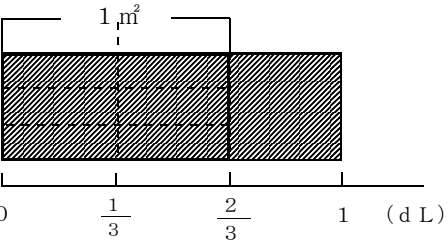
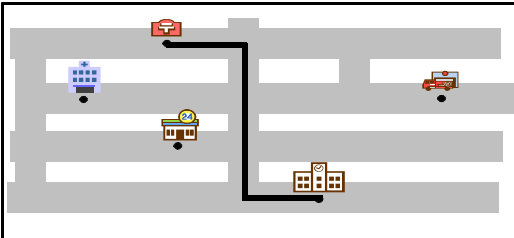


大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点						
20点	(1)	①	技能			6	5						
	(2)	②	技能			3.5 または 3あまり1.2	5						
	(3)	③	技能	$\frac{26}{30}$, $\frac{52}{60}$ など約分ができていない。	2	$\frac{13}{15}$ (平成15年度と同一問題)	5						
	(4)	④	技能			$\frac{29}{8}$ または $3\frac{5}{8}$	5						
10点	(1)	⑤	知識	(ア x) (イ y) のどちらか一方が合っている。	2	○左を参照，完答で5点。	5						
	(2)	⑥	関心	○ x と y を使って，場面を作っているが， $x\times 7=y$ の式に意味が合っていない。	2	(正答例) ・1個 x 円の品物を7個買ったときの代金は， y 円である。 ・分速 x m で7分間歩いたときの道のりは， y m である。 など	5						
10点	(1)	⑦	知識	<table><tr><td>線対称な図形</td><td>点対称な図形</td><td>線対称でも 点対称でもある図形</td></tr><tr><td>① ④ (⑤があっても可)</td><td>② ③ (⑤があっても可)</td><td>⑤</td></tr></table> (分類ごとに，正答なら1点。)	線対称な図形	点対称な図形	線対称でも 点対称でもある図形	① ④ (⑤があっても可)	② ③ (⑤があっても可)	⑤	1 } 3	○左の表において，完答で5点。	5
	線対称な図形	点対称な図形	線対称でも 点対称でもある図形										
① ④ (⑤があっても可)	② ③ (⑤があっても可)	⑤											
	(2)	⑧	知識	 ○対称の中心を見つけるときに使った線は残っていないが中心はかき入れてある。	2	(正答例)  など ○ O の記号がなくても，2つ以上の線分の交点によって対称の中心を見つけることができていれば可。	5						

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
4	(1)	⑨	知識	○図はかけているが、□に当てはまる数や答えが間違っている。	2	<div></div> $\frac{3}{4} \div \frac{2}{3} = \left(\frac{3}{4} \div \boxed{2}\right) \times \boxed{3}$ $= \frac{3}{4 \times \boxed{2}} \times \boxed{3} = \frac{\boxed{3}}{4} \times \frac{\boxed{3}}{\boxed{2}} = \frac{\boxed{9}}{\boxed{8}}$ <p>答え $\frac{9}{8} m^2$ $1\frac{1}{8}$ も可</p>	5
				○図はかけていないが、□に当てはまる数や答えは合っている。	3		
	(2)	⑩	技能	$\frac{3}{4} \div \frac{2}{3} = \left(\frac{3}{4} \times \frac{\boxed{3}}{\boxed{2}}\right) \div \left(\frac{2}{3} \times \frac{\boxed{3}}{\boxed{2}}\right)$ $= \left(\frac{3}{4} \times \frac{\boxed{3}}{\boxed{2}}\right) \div 1$ <p>ここまでできていれば3点</p>	3	$\frac{3}{4} \div \frac{2}{3} = \left(\frac{3}{4} \times \frac{\boxed{3}}{\boxed{2}}\right) \div \left(\frac{2}{3} \times \frac{\boxed{3}}{\boxed{2}}\right)$ $= \left(\frac{3}{4} \times \frac{\boxed{3}}{\boxed{2}}\right) \div 1$ $= \frac{\boxed{3}}{4} \times \frac{\boxed{3}}{\boxed{2}} = \frac{\boxed{9}}{\boxed{8}}$ <p>答え $\frac{9}{8} m^2$ $1\frac{1}{8}$ も可</p>	5
				(授業改善の視点) 既習事項を生かしながら、「わる数の逆数をかける」という計算の方法を、図と照らし合わせながら考えさせることにより、計算の意味の理解を深める。			
5	(1)	⑪	考え	○「正しくない」に○を付けているが、式や考え方に誤りがある。 (理由が書いてない場合も含む)	2	○「正しくない」に○を付け、一定時間あたりに走った道のりや、一定の道のりを走るのにかかった時間で比べるなどして、説明している。 (例) <u>正しくない</u> 1秒間に走った道のりで比べると しんじ $40 \div 8 = 5 m/秒$ あきら $60 \div 10 = 6 m/秒$ まさお $80 \div 12 = \text{約} 6.7 m/秒$ となって、同じ速さではない。(まさおが一番速い) など	5
				○「正しい」に○をつけているが、1秒(10秒)あたりの走った道のりや、1m(10m)あたりにかかった時間などで比べている。	2		
	(2)	⑫	考え	○途中までの式は合っているが、答えが間違っている。 ・ $40 \div 8 = 5$ ・ $40 : 8 = 100 : \square$ など	3	○求め方と答えが合っている。 (例) まず、秒速は $40 \div 8$ $= 5 (m/秒)$ で、 $100 \div 5 = 20$ だから20秒かかる。 など 答え 20秒	5

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
6	10点	⑬	技能	○ $1(\text{cm}) \times 5000 = 5000$ まではできているが、答えが間違っている。	2	$1 \times 5000 = 5000$ $5000 \text{ cm} = 50 \text{ m}$ 答え <u>50 m</u>	5
		⑭	考え	○ $9(\text{cm}) \times 5000$ などの式まではできているが、答えが間違っている。 (数 mm の誤差は可。 $9.3 \text{ cm} \times 5000$ など)	2	 $2 + 5 + 2 = 9$ $9(\text{cm}) \times 5000 = 45000 \text{ cm}$ $45000 \text{ cm} = 450 \text{ m}$ 	